

製品名: GnRH I ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11566**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GNRH1
別名	GNRH1; GNRH; GRH; LHRH; Progonadoliberin-1; Progonadoliberin I
遺伝子 ID	2796.0
SwissProt ID	P01148
免疫原	抗血清はヒト GnRH I 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 43-92

背景

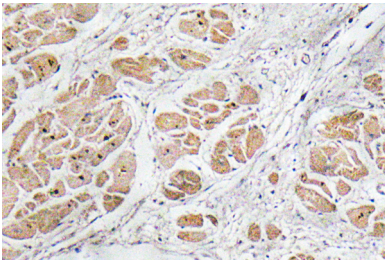
ゴナドトロピン放出ホルモン 1 (GNRH1) ホモサピエンス この遺伝子は、タンパク質分解によってゴナドトロピン放出ホルモン (GnRH) ファミリーのペプチドを生成するプレプロタンパク質をコードしています。選択的スプライシングによって複数の転写バリ

アントが生じ、そのうち少なくとも1つは分泌され、その後切断されてゴナドリベリン1とGnRH関連ペプチド1が生成されます。ゴナドリベリン1は、生殖に重要な黄体形成ホルモンと卵胞刺激ホルモンの放出を刺激します。この遺伝子の変異は、低ゴナドトロピン性性腺機能低下症と関連しています。[RefSeq提供、2015年11月]、機能:ゴナドトロピンの分泌を刺激する。黄体形成ホルモンと卵胞刺激ホルモンの両方の分泌を刺激します。、オンライン情報:ゴナドトロピン放出ホルモンのエントリー、医薬品:Factrel (Ayerst Labs)、LutrepulseまたはLutrelif (Ferring Pharmaceuticals)、Relisorm (Serono)の名称で入手可能です。視床下部-下垂体性ゴナドトロピン機能の評価に使用されます。、類似性:GnRHファミリーに属します。、

研究分野

GnRH;

画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓組織におけるGnRH I抗体の免疫組織化学分析。